

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成30年5月31日 (2018.5.31)

【公表番号】特表2017-513503(P2017-513503A)

【公表日】平成29年6月1日 (2017.6.1)

【年通号数】公開・登録公報2017-020

【出願番号】特願2016-564068(P2016-564068)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

C 0 7 K 16/00 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 14/47

C 0 7 K 16/00

C 0 7 K 19/00

C 1 2 N 5/10

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 3/00

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 P 29/00 1 0 1

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/28

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月16日 (2018.4.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号 19 に示すアミノ酸配列を有するポリペプチドを含む T R A I L 受容体アゴニストタンパク質。

【請求項 2】

配列番号 19 に示すアミノ酸配列を有する 2 つのポリペプチドの ダイマー を含む T R A I L 受容体アゴニストタンパク質。

【請求項 3】

前記 2 つのポリペプチドが、各ポリペプチドのシステイン残基 513、519 及び 522 間に形成された 3 つの鎖間ジスルフィド結合を介して共有結合している、請求項 2 に記載の T R A I L 受容体アゴニストタンパク質。

【請求項 4】

前記ポリペプチドの 168 位及び 337 位のアスパラギン残基の 1 個以上が、N - グリコシル化されている、請求項 1 に記載の T R A I L 受容体アゴニストタンパク質。

【請求項 5】

前記ポリペプチドの 168 位及び 337 位のアスパラギン残基の両方が、N - グリコシル化されている、請求項 1 に記載の T R A I L 受容体アゴニストタンパク質。

【請求項 6】

前記ポリペプチドが、更に翻訳後修飾されている、請求項 1 に記載の T R A I L 受容体アゴニストタンパク質。

【請求項 7】

前記翻訳後修飾が、N 末端グルタミンのピログルタメートへの修飾を含む、請求項 6 に記載の T R A I L 受容体アゴニストタンパク質。

【請求項 8】

請求項 1 に記載の T R A I L 受容体アゴニストタンパク質、並びに 1 つ以上の医薬的に許容され得る担体、希釈剤、賦形剤及び / または佐剤を含む医薬組成物。

【請求項 9】

請求項 1 に記載の T R A I L 受容体アゴニストタンパク質をコードする核酸分子。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の核酸分子を含む発現ベクター。

【請求項 11】

請求項 9 に記載の核酸分子を含む 単離された細胞。

【請求項 12】

真核細胞である、請求項 11 に記載の細胞。

【請求項 13】

前記細胞が哺乳動物細胞である、請求項 11 に記載の細胞。

【請求項 14】

前記細胞がチャイニーズハムスター卵巣 (C H O) 細胞である、請求項 11 に記載の細胞。

【請求項 15】

癌 を有する被験者に対して、有効量の請求項 1 に記載の T R A I L 受容体アゴニストタンパク質を投与することを含む、癌 の治療方法。

【請求項 16】

前記 癌 が、腫瘍を含む、請求項 15 に記載の方法。

【請求項 17】

前記腫瘍が固形腫瘍である、請求項 16 に記載の方法。

【請求項 18】

前記腫瘍がリンパ系腫瘍である、請求項 16 に記載の方法。

【請求項 19】

前記ポリペプチドの 168 位及び 337 位のアスパラギン残基の 1 個以上が、N - グリコシル化されている、請求項 3 に記載の T R A I L 受容体アゴニストタンパク質。

【請求項 20】

前記ポリペプチドの168位及び337位のアスパラギン残基の両方が、N-グリコシル化されている、請求項19に記載のTRAIL受容体アゴニスタンパク質。

【請求項 21】

前記ポリペプチドが、更に翻訳後修飾されている、請求項19に記載のTRAIL受容体アゴニスタンパク質。

【請求項 22】

前記翻訳後修飾が、N末端グルタミンのピログルタメートへの修飾を含む、請求項21に記載のTRAIL受容体アゴニスタンパク質。

【請求項 23】

請求項3に記載のTRAIL受容体アゴニスタンパク質、並びに1つ以上の医薬的に許容され得る担体、希釈剤、賦形剤及び/または佐剤を含む医薬組成物。

【請求項 24】

癌を有する被験者に対して、有効量の請求項3に記載のTRAIL受容体アゴニスタンパク質を投与することを含む、癌の治療方法。

【請求項 25】

前記癌が、腫瘍を含む、請求項24に記載の方法。

【請求項 26】

前記腫瘍が固形腫瘍である、請求項25に記載の方法。

【請求項 27】

前記腫瘍がリンパ系腫瘍である、請求項25に記載の方法。